

議員定数調査特別委員会

9月定例会議に提出された請願を受け、議員定数調査特別委員会（以下、特別委員会）が設置され、本請願について慎重に審議を重ねました。

請願の内容

「常総市議会議員定数削減に関する請願書」

【署名人数】

11, 108人

【請願の主旨】

市議会議員の定数について、他市と比較して当市の議員定数が多いことや、財政状況を鑑みて、令和5年4月の市議会議員選挙より2名から4名の議員定数削減を求めるもの。

【定数削減までの流れ】

請願書受理
(R4.8.4)

議員定数調査特別委員会設置
(R4.9月 定例会議)

特別委員会採決 **不採択**
(R4.12月 定例会議)

本会議採決 **採択**
(R4.12月 定例会議)

請願第2号 **採択**
定数削減が決定

※請願第2号の採択を受けて

議案第49号
議員定数条例の一部改正
本会議採決 **可決**

R5.4月 市議会議員選挙から2名削減
定数22名 ⇒ 定数20名

【特別委員会での結果】 ※一部抜粋

反対

- 市民の意見を拾い上げる力の低下。
- 執行部と渡り合うには22名は妥当な数である。
- 市民サービスを維持するためにも現定数は必要。

賛成

- 定数は22名だが、現状20名で議会を運営していることも鑑みるべき。
- 近隣市町村の状況をみても削減を検討すべき。
- 署名者の意思も無視できない。

【特別委員会での結論】
賛成少数により**不採択**（定数変更なし）

【本会議での結果】

特別委員会での結果を受け、本会議で請願について採決した結果
賛成多数により**採択**（定数削減）

本会議での結果を受け、議会運営の現状と、市民からの要望を踏まえ、2名を削減した20名が妥当と判断し、2名削減の条例改正を行うこととなりました。

草間典夫議員が提出者（12名の議員が賛同）となり、条例改正の議案が提出され、可決されました。

令和5年4月の選挙から

市議会議員の定数が20名に！

喜見山議員の逝去について

喜見山明議員（71歳）が令和4年11月9日、御逝去されました。

12月定例会議初日の本会議では、全員で黙祷を捧げ、その後、堀越道男議員から追悼の言葉が読み上げられました。

喜見山明議員は平成3年に初当選してから7期27年にわたり旧水海道市・常総市議会議員として市政の進展に活躍されました。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



黙祷の様子